

# 会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和元年度高砂市子ども・子育て・若者会議 第2回子ども・子育て部会
開催日時	令和元年10月15日(火) 18:30~19:40
場 所	高砂市役所 南庁舎5階 大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 10人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	こども未来部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係る高砂市子ども・子育て・若者支援プラン(素案)について (2) その他
出席者	委員13名(欠席1名)
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	<p>みなさん、こんばんは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>開催に先立ちまして、本日の配布資料の確認をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><b>【配布資料の確認】</b></p>
事務局	<p>1 開会</p> <p>それでは、定刻となりましたので、令和元年度第2回高砂市子ども・子育て部会を開会いたします。開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして公開とさせていただいております。また、本日の傍聴者は0名となっております。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議題に入る前に、本日、委員14名のうちに1名が欠席ということを知っております。その他の委員につきましては、少々遅れるということでご連絡ありましたの</p>

	<p>でご報告いたします。これにつきまして、出席者数は過半数となりましたので、高砂市子ども・子育て・若者会議条例第6条第2項によりまして、会議は成立しておりますので、ご報告を申し上げます。</p> <p>これより会議の進行は、部会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
部会長	<p>こんばんは。本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>議題に入りたいと思います。議題（1）第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係る高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（素案）についての説明を、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題に入ります前に、前回の会議でご指摘いただきました内容で、ご説明したいことがございますので、そちらのほうを先にさせていただきます。</p>
事務局	<p>お時間を取って申し訳ございません。前回、長期欠席の定義についてご説明いたしましたが、確認いたしましたところ、この素案の20ページにも入れていただいておりますが、「連続または単独して30日以上欠席した者」ということで定義しておりましたので、訂正させていただきます。申し訳ございません。</p>
事務局	<p>では、議題のほうに入らせていただきます。</p> <p><b>【資料① 高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（素案）について説明】</b></p>
部会長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>ご説明いただかなかったところで、お聞きしてみたいことがあります。大丈夫でしょうか。30ページのアンケートの、「もっと力を入れてほしい子育て支援」で、「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」というのが、非常に高い数字が出ていたと思います。それを受けて、37ページの基本目標4の2段落目にも、「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」を取り上げてくださっています。では、実際こういうアンケート結果が出ていて、何か新しい施策が始まるのかなと思ったら、今のご説明の中になかったということは、新しいことが始まらないということなのかなと思ひまして、この声を真摯に受け</p>

事務局	<p>止めて、どういうふうに、次に施策として考えてこれを作られているのかというのを、少しお聞きできたらと思います。よろしくお願いします。</p> <p>前年にアンケートを行いまして、その結果、「子どもたちが安心して遊べる場所づくり」に力を入れてほしいということで、大きく出てきているところではありましたが、今回、担当課のほうが出席できていない状況ですが、このアンケート結果については、担当課にこういった状況にあるということは報告しております。ただ、すぐにこの新規提案事業には結び付いてはいないのですけれども、今後、そういった要望があるというところは真摯に受け止めて、施策について検討しているところではあるかと思えます。</p>
委員	<p>意見になるのですけれども、多分新しいものが出てこなかった。けれども、61 ページを見ますと、主な施策がずっとこれまでもあって、いろいろなことをやっていますよということだと思うのです。それで、この「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」をどう解釈されたのか。もしかしたら、アンケートに答えられた方と、それを読み取った方で違うのかなと思ったのです。これを答えた人たちの「子どもだけで安心して」というのは、親が付き添わなくてもいいということだと思うのですが、誰も人がいない閑散とした所で、安心して遊べるわけではないと思うのです。だから多分、遊び場所で親が付き添わなくても安心できるような、人の目があるという所を期待されていたのではないのかと思うと、そこが答えた側と読み取る側でずれてしまうから、新しい所にかなかったのかなと思っておりました。ただ、これは私の想像の範囲で、単なる意見としてここで申し述べさせていただきますので、またご検討いただけたらありがたいです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今回、61 ページの「公園」というところで取り上げているのですが、アンケートの内容からすると、もしかしたら児童館のような子どもだけで遊べるような施設というところを含んでの回答になっているのかもしれないということで、中身をもう一度精査していきたいと思えます。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。ほかにかがでしょうか。</p> <p>病児保育のほうはいかががでしょうか。前の病児保育でご意見を出されたと思うのですが、高砂市が 944 名、加古川市が 316 名と、すくすくひろばの実績が出ていますけれども、それに対しての病児保育の施策はいかががでしょうか。</p>

委員	<p>今回、参考資料を付けていただいている、これを見ていただいたらよく分かるのですが、すくすくひろばは高砂市の施設で、高砂市の預かりの方は年々右肩上がりに増えている状況ですけれども、近隣の加古川市は平成27年度に施設ができたということもあって横ばいの状況です。そのほかというのは、ほとんど姫路と明石が半々くらいですけれども、姫路にも病児保育施設ができましたので、これも平成27年、28年度くらいから横ばいということで、やはり病児保育施設は、家庭と園と病児保育施設が、ある程度近接した状況にならないと、利用できないかなというのが読み取れると思います。</p> <p>逆に言うと、高砂市は1施設ですけれども、市の協力を得て頑張ってもらっている状況にあるかと思います。隣の加古川市は1施設ですけれども、広い市で人口も多いので、遠い所に預けるというのはあまりいないので、そういう意味では、姫路、加古川、明石など人口の多い所は、まだまだ病児保育の体制としては高砂と比べたら遅れているのかなと、個人的には思っています。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。大体合計で1,335人の確保がされていて、少し多いということですが、加古川から来ているということは、これからも受け止めていくというような状況なのでしょうか。</p>
事務局	<p>加古川市とは協定を結んでおりまして、高砂市内に在住の方と、加古川市在住の方は同じ料金で、同じような形で受け入れをしていただいている状況で、今後も加古川市の方々の受入れを断るということではできませんので、できれば市内でもう1か所、そういう施設ができればということで計画しているところです。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。高砂市のほうでは、充実した方向で動いているということが分かります。</p>
委員	<p>今、市のほうから、できれば複数の施設という意見がありましたけれども、やはりそれにあたってはより広域な利用ですね。実際、すくすくひろばも加古川市と連携して、他市も預かるという形で姫路・明石からも来られていますけれども、複数できるのであれば、より利用しやすい。例えば、1つは広域に利用するとすれば、高砂でいうと明姫幹線近辺で、あまり離れた所ではないほうが利用しやすいという場所の問題と、あとは、複数の施設ができるのであれば、同じようなことをするのではなくて、ほかの病児保</p>

	<p>育施設との差別化です。例えば、朝早く7時から預かるとか、夜の19時まで預かるとか、土曜日預かるとか、いろいろ難しいところはありますが、少し変わったことをして、施設で特徴を出してやるようなことを考えて進めていただけたら、より充実した病児保育の預かり体制ができると思います。2か所つくるのだったら、その辺のことを考えていただけたらという希望があります。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見を頂きまして、また前向きに検討させていただきたいと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ほかにもございますでしょうか。</p> <p>園のほうでは無償化が施策に出しておりますけれども、何かご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>保護者の方は、すごく無償化によって期待というか、高砂市が給食費も無償化になりましたすごく喜んでおられると思っているのですが、昨日、うちの園で保育料の督促状が来たのです。その時、いつもより督促状が多くて、特に未満児さんが多かったのです。未満児さんの保護者の方が、未満児も無償化と勘違いいらしたのかなと思ひまして、今日、疑問に思ったのです。</p>
部会長	<p>未満児の方の情報は、どういうふうにやっていますでしょうか。事務局、よろしくお願ひします。要は督促状が増えたということで、無償だと思っておられる方が多いということですね。</p>
委員	<p>園のほうでも、チラシとかで周知徹底はしているのですが、保護者の方に勘違いというか。それと、公立の場合は預かり保育は無償化にならないのですが、それに関しても、チラシには預かり保育も無償化にならないとあります。</p>
部会長	<p>その説明は、チラシを読まれたら大体分かると思うのですが、混乱が何かあるわけですか。</p>

事務局	<p>保育料の無償化につきましては3歳～5歳で、副食費も同じように3歳～5歳ということで、きちんとホームページ等にもPDA等で画面に出てくるように周知はしているのですが、もしもご理解されていないのでしたら、さらなる周知等しますし、少し確認したいと思います。情報ありがとうございます。</p>
部会長	<p>認定こども園の所ではいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私の所は勉強会とか、個人的なところで周知はさせていただいて、市のほうからも非常に分かりやすいポスターなどを作成していただいています、それを掲示するなりで、また園のほうにも市のほうからすごく丁寧にしていただいて、それをよく理解して、何回か説明会もしていただきまして、そういう方もいらっしゃるかも分かりませんが、保護者の方もおおむね理解してくださっているのかなという感触を得ています。</p> <p>あと、本当に副食費の無償に関しては、保護者の方は本当に喜ばれていますし、私自身も喜んでます。それによってすごく子育てしやすい、それだけでというのはあれですけれども、それだけでも本当に子育てしやすいまちだなという印象が高砂市についてのはすごく良かったと思っています。</p> <p>無償化は国の流れですけれども、それに加えて、高砂市としてさらに高いサービスをしていくところでは、いろいろな意味でいいのかなと思っています。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。無償化について、保育所連合保護者の会代表の委員からはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>個人的な意見ですが、0歳児の子どもがいるのですが、今回、3歳児からが全額無償ということで、できたら半額でもいいから、今後そうなるような施策は考えられているのかなみたいな、少しだけでもそういったのがあるのかなと。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。PTA 幼稚園部会代表の委員からはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>うちも3人いて、そのうち2人がこども園に行っているのですが、無償化になるのはすごく助かるなと思っています。ぜいたくを言えば、小学校の高学年になればなるほど、お金もいろいろかかってくることも見えてくるので、これから小学校のほうも全額とまで</p>

<p>部会長</p>	<p>はいかなくとも、何らかの支援があれば、非常に助かるかなと思っています。</p> <p>ありがとうございました。無償化に対して、副食費なども無償で、非常に喜んでいらっしゃるご家庭の方が多いということですが、さらにいろいろと、未満児とか、小学校についてもということで、今後、考えて検討する方向でということで、考えていただきたいということです。ほかに質問いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>74ページに新規事業の「こどもサポートの充実」と、「保育所等訪問支援の充実」があるのですが、実は学童保育所のほうも障害を持った、特別支援学級に行っているお子さんであったり、通級のお子さんをお預かりさせていただいているのですが、低学年のうちはまだそんなに手はかからない状態で、まだ女性の支援員などが、どうしてもパニックになるときは押さえてゆっくり話をするとか、少し廊下に出てクールダウンするとかということで、何とか手に負える状態なのですが、高学年になってくると、どうしても力が強かったりとかで、なかなか手に負えないなというので、今、悩んでいるところが数箇所あるのです。そういうようなことを相談したいなと思ったときに、こういうのが学童でも利用ができればいいのにとというのは考えています。</p> <p>実は、発達サポートセンターのクローバーさんという所があって、そこへご相談させていただいて、実際に来ていただいて、ビデオで撮影して、それをケース会議別に勉強会をして、どうやったらいいかという対応をみんなで考えていくとか、アドバイスを頂くとかということは積極的にやっているのですが、向こうも忙しいので、年に1回来てくれるかどうかみたいなレベルなので、もう少し日常的に相談ができたりとか、アドバイスをしていただけたらとかいう機会が、学童などでもあったらありがたいなと思っています。対応していただければなと思っています。</p>
<p>部会長</p>	<p>学童保育も、高学年になると体も大きくなって、手に負えないお子さんが出てくると。その相談の受け皿でございますけれども、いかがでしょうか。事務局、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>学童保育の障害児の子どもさんとか、発達が気になる子どもさんが大変増えているところでは、こちら事情をお伺いしてよく理解しているところではあるのですが、確かにそういったところの相談の受け皿が、今のところできていない実情ではあると思いますので、どこかご相談できるような所があるか、確認をしていきたいと思っております。</p>

<p>事務局</p>	<p>先ほどの説明の補足をさせていただきます。委員がおっしゃいました、新規事業の「こどもサポートの充実」「保育所等の訪問支援の充実」は、児童学園で今現在、実際に平成27年度から実施されている事業でございます。</p> <p>まず、こどもサポートにつきましては、就学前の施設を対象といたしまして、先ほども、学童保育にも障害児が増えているという現状のお話がありましたように、就学前施設の幼稚園・保育園・こども園でも障害、発達が気になる子どもさんが増えているというような施設からの声がございます。そういうお声にお応えして、保育園・こども園・幼稚園で教育・保育をされる保育士の方、またはそういった子どもさんに対する指導、アドバイス等を児童学園の専門的なスタッフが園に伺い、子どもの様子を見て、子どもの教育・保育の普段からの保育をどのような形で行えばいいかというようなアドバイスを行っている事業でございます。</p> <p>また、保育所等訪問支援事業は、障害児のサービス事業として始まっております。こちらにつきましては、保護者からの依頼によりまして、家の生活とは違う学校施設等での集団生活を送る子どもたちの様子を見ながら、また家庭とは違う学校での過ごし方を確認しながら、保護者や担当職員にアドバイスを行うというような事業を行っております。</p> <p>そのほかにも、こちらの73ページにもありますように、「マミーサポートの充実」「養育相談の充実」というもの、または「保育所等の巡回相談の充実」で、健康増進課や幼児保育課、児童学園において相談事業を行っています。</p> <p>委員がおっしゃいましたように、小学校、または就学前の幼稚園・保育園・こども園とは違う、学童保育での専門的なスタッフの派遣という事業は、現在実施されていない状況でございます。実際に我々も、学童保育にもそういった発達が気になる子どもさんが増えてきている現状は声を聞いておりますので、こういうサポート事業、相談事業も含めまして拡充を検討してまいりたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。ご検討をよろしくお願したいと思います。</p> <p>もう1点だけいいですか。学童保育だと86ページですが、私は高砂キッズ・スペースという団体で、高砂市内10カ所の学童保育所を運営させていただいているのですが、今、</p>



事務局	<p>市内に高砂キッズ・スペース以外で学童保育をやっている所が2か所ほどあるのですが、この利用見込みの数値の中に、そちらも入っているのかをお聞きしたいと思います。</p> <p>伊保地区に1件、認定こども園真浄寺保育園さんが学童保育所を行っているところですけれども、この87ページの伊保小学校のほうに見込み数としまして、それも合わせて入れさせていただいております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。伊保のほうが1か所あるのですね。今度、阿弥陀地区も、ルピナス高砂さんのほうで学童保育所をやられるということで、大体40人くらいは受入れ枠があるのではないかとということをお聞きしている状態なのですが、どういう形の募集をされるかというのは、私もまだ把握をしていない状態なので、どれくらいそちらに行かれるか分からない状態なのですが、この確保量にそちらの人数も入っているのかなということです。</p>
事務局	<p>伊保小学校区での見込み量ということで、この中に入っております。今後、阿弥陀小学校のほうでも増えてくる見込みですので、小学校内で確保できない場合は、ほかの施設であったり、そういう所をお願いして、学童保育をしてもらおう方向でも考えております。そういったところも含めて、確保していくというところを載せているところでございます。</p>
部会長	<p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ほかにもいかがでしょうか。</p> <p>では、続きまして議題2「その他」ですけれども、次回の第2回の子ども・子育て若者会議の日程について調整させていただきたいと思います。事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p><b>【資料② 令和元年度高砂市子ども・子育て若者会議スケジュールについて説明】</b></p>
部会長	<p>ありがとうございました。皆様のいろいろなご意見を頂きましてありがとうございます。</p>

事務局	<p>した。議題は以上でございますけれども、ほかにご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和元年度第2回高砂市子ども・子育て部会を終了します。本日はありがとうございました。</p> <p>部会長、並びに委員の皆様、誠にありがとうございます。本日も忌憚のないたくさんのご意見をありがとうございました。</p> <p>これにて閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>
-----	---